

学年	授業時数	教科	科目	教科書名	副教材名
高3 (特別進学)	4	公民科	現代社会特講	『改訂版 政治・経済』 (数研出版)	『ニューコンパスノート 政治・経済』(東京法令出版)『政 治・経済資料 2021』(東京法 令出版)

1. 授業のねらい

- (1) 既習分野の復習。
- (2) 問題演習などを通じて主に私大入試・大学入試共通テストに対応できる実力を養う。

2. 授業の進め方

副教材やプリントなどを使用して授業を進める。

3. 学習上の留意点

まず、高2までに学習した内容の復習を中心に行う。その後は、問題演習を中心に進める。ある大手予備校のデータによれば、入試問題の6割は基本事項とされる。したがって基本事項をしっかり習得して欲しい。また、問題演習で正解に結びつくようにするには、単なる暗記ではなく、なぜそうなるのか、時代背景、キーワードの用語を中心に、理解して覚えることが大切である。しかしながら理解して覚えただけでは十分ではなく、覚えたものが身に付いていなければならない。その用語を知っている、または覚えたはずなのに、問われ方が変わると解けない場合は、身に付いていないということになる。身に付いているか否かの一つの目安になるのは、説明できるか否かである。上辺だけの理解では、説明することはできない。すなわち、真の実力を付け、得点力をアップさせるには、自ら学ぶ姿勢、意欲的に取り組む姿勢、アクティブラーニングの姿勢が何よりも重要となる。

4. 教科書・副教材

- (1) 教科書『改訂版 政治・経済』(数研出版)
- (2) 副教材『ニューコンパスノート 政治・経済』(東京法令出版)、『政治・経済資料 2021』(東京法令出版)、
※用語集については、資料集巻末掲載の用語説明を利用すればよい。購入したい場合は以下の本がある。『用語集 政治・経済 新訂第8版』(清水書院)、『政治・経済用語集』(山川出版社)。収録用語数は清水書院の方が多い。

5. 評価方法

- (1) 定期試験・定期考査3回(100点×3回) 計300点
- (2) 平常点…1学期20点+2学期10点 計30点
- (3) ノート(プリント)提出・課題提出などについてはその都度発表する

6. 定期考査

授業で扱った事項、試験前に指定した範囲からの出題の他、応用・発展・時事問題を出题することもある。

7. 指導計画

期	月	単元名・学習項目	評価方法	到達目標		
1 学 期	4	I 民主政治と日本国憲法 1 民主政治の原理と法の支配 2 民主政治のしくみ 3 日本国憲法とその基本原理 4 基本的人権の本質と法の下での平等	課題など	主に政治分野の基本事項の復習		
	5	5 自由権 6 社会権と人権を実現するための諸権利 7 新しい人権と人権の国際化 8 日本の平和主義 9 日本の防衛政策と諸問題			中間考査	
	6	II 日本の政治機構と現代の政治 10 国会の地位と権限 11 内閣の地位と権限 12 裁判所の地位と権限 13 地方自治のしくみ 14 政党政治と圧力団体	課題など			
	7	15 選挙制度と世論			期末考査	
	8	夏季休業				
	2 学 期	9	IV 現代経済のしくみ 21 資本主義経済の成立と発展 22 現代の企業 23 現代の市場		基礎学力到達度テスト	主に経済分野の基本事項の復習
		10	24 国民所得と経済成長 25 金融のしくみとはたらき			
		11	私大入試対策 大学入試共通テスト対策		課題など	
12		冬季休業	期末考査			

※理解度やその他の都合により省略や前後することもありうる。